



# 2024年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社富士山マガジンサービス 上場取引所 東  
コード番号 3138 URL <https://www.fujisan.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 西野 伸一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼内部監査室長 兼経営管理グループ長 (氏名) 佐藤 鉄平 TEL 03 - 5459 - 7076  
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,413	2.7	127	76.2	126	76.1	81	91.6
2023年12月期第1四半期	1,452	3.9	72	41.6	71	41.9	42	50.8

(注)包括利益 2024年12月期第1四半期 86百万円 (6.1%) 2023年12月期第1四半期 48百万円 (47.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	25.33	24.98
2023年12月期第1四半期	13.54	13.11

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	6,008	2,401	38.2
2023年12月期	5,823	2,348	38.6

(参考)自己資本 2024年12月期第1四半期 2,296百万円 2023年12月期 2,247百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		0.00		16.00	16.00
2024年12月期(予想)		0.00		16.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,798	4.0	155	5.3	153	5.9	98	1.6	30.45
通期	5,771	0.0	357	0.0	355	0.0	222	0.0	68.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	3,315,620 株	2023年12月期	3,315,620 株
期末自己株式数	2024年12月期1Q	13,419 株	2023年12月期	85,519 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	3,231,881 株	2023年12月期1Q	3,155,700 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、バブル景気以来となる株式市場の活況、外国からの旅行者数の回復等により個人消費、国内景気にとって明るい兆しは見えてきているものの、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、米中間の対立、米露間の対立、中東情勢の緊迫化等、不安定な国際情勢の影響等及び米国長期金利の値上げ観測、インフレ率の上昇による物価上昇等、世界経済のさらなる悪化及び為替市場における更なる円安が懸念される中、景気についてもいまだ不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社サービスの基盤となる、インターネット及びブロードバンド関連の環境につきましては、リモートワーク率の上昇、巣ごもり需要等を取り込み着実に増加しており、2023年12月末時点で固定系超高速ブロードバンド契約数が約4,659万（前年同期比1.3%増）とインターネットを利用する機会が広く普及しております。また、スマートフォンやタブレット端末の利用者の増加により移動系超高速ブロードバンド契約数（3.9-第4世代）は約1億2,088万（前年同期比7.1%減）と減少する一方、第5世代携帯電話契約数が8,651万（前年同期比37.0%増）を超えるなど、インターネットを利用する環境は引き続き拡大基調にあります（出所：総務省電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表）。一方、2024年1月から3月の雑誌全体の推定販売状況は前年同期比9.2%減の1,028億円となっており、また、書店からの返品率も43.2%（前年同期比1.4ポイント増）となり悪化しております（出所：公益社団法人全国出版協会 季刊出版指標2024年春号）。

このような環境の中、当社グループは、当第1四半期連結会計期間においても、雑誌の定期購読者の囲い込み、新規読者の獲得のため、第22期事業年度に引き続き、各マーケティングチャネルの充実、SEO対策やリテンション対策による雑誌購読者の定期購読者化、新規受注高の増加及び継続率の上昇による継続受注高増加のための各種施策を実施して参りました。さらに、出版社の配送支援業務及びWEB経由以外で新規の雑誌定期購読者数を増やすために、出版社が管理する既存の定期購読顧客の管理を当社に移管し、当社グループが購読顧客の獲得、管理、配送までを一括で受ける「Fujisan VCS (Fujisan Value Chain Support)」の展開及び法人顧客開拓についても、引き続き注力して参りました。

この結果、雑誌出版市場が大きく前年比で縮小する中、当社グループは当第1四半期連結累計期間において総登録ユーザー数（一般購読者及び法人購読者の合計数）は4,190,179名（前連結会計年度末比62,050名増加）、そのうち課金期間が継続している継続課金ユーザー数（「Fujisan.co.jp」に登録しているユーザーのうち、12月末時点で年間定期購読及び月額払い定期購読の申込みを継続しているユーザー並びに当月内に雑誌を購読したユーザーの合計数）は579,623名となり、当社グループ会員数は着実に伸びているものの、ユーザーの増加率及び紙雑誌の定期購読サービス領域の新規顧客獲得については、1件当たりの獲得コストの効率化を進めていることもあり鈍化しております。

デジタル雑誌関連の事業（「第2の矢」事業）については、2018年第2四半期連結会計期間より、新たに株式会社電通と合弁で設立した株式会社magaportの事業開始に伴い、従来の「Fujisan.co.jp」上でのデジタル雑誌販売のみならず、他電子書店向けのデジタル雑誌取次分野及び派生するサービス領域事業に注力しております。本事業は主に雑誌読み放題サービスにおいて2023年度に引き続き、着実に成長を続けており、2024年3月末においては当社グループの売上の36.7%を占めるまでになり、第2の柱となっております。また、既存の雑誌読み放題サービスへの取次だけでなく、記事単位の提供サービスのトライアル、株式会社図書館流通センターと共同で電子図書館事業への参入を行う等、デジタル雑誌資源を用いた新たなサービス領域の開拓も行っており堅調に推移しております。

雑誌購読者情報を用いた事業（「第3の矢」事業）については、株式会社イデアが手掛ける出版社ECサイトの運営支援事業が主軸となっておりますが、当第1四半期連結会計期間については前年度に行ったECサイトの運営終了、運営支援していた大手出版社サイトのクローズ等の影響により、営業黒字に転換いたしました。

コスト面については、前年度に引き続き、主にマーケティングの効率化により発生するリスティングに関するコストを抑えておりますが、将来への投資である人件費及び新たなマーケティング施策の試験的な運用、SEO対策のためのWEBサイトのコンテンツ追加、新事業領域であるWEBサイト運営のための先行投資等により販売管理費は増加しております。

上記の施策の結果、当第1四半期連結累計期間における取扱高（連結取引消去前における当社グループから出版社への定期購読の注文取次高、当社の仕入販売高、当社グループが出版社から配送業務及び広告PR業務等を受けた請負業務の取扱高の合計）は3,364,290千円（前年同期比3.7%増）となりました。売上高は1,413,130千円（同2.7%減）となりました。利益面につきましては、営業利益127,002千円（同76.2%増）、経常利益126,603千円（同76.1%増）、四半期純利益86,570千円（同78.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益81,874千円（同91.6%増）となりました。

注. 当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の業績の状況については記載していません。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は6,008,652千円(前連結会計年度末比184,884千円増)となりました。総資産の内訳は、流動資産が5,106,373千円(同142,329千円増)、固定資産が902,279千円(同42,555千円増)であります。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が64,507千円増加したこと、未収入金が60,979千円増加したこと、ソフトウェアが23,643千円増加したこと、投資有価証券が22,200千円増加したこと等によるものであります。

### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,606,859千円(前連結会計年度末比131,970千円増)となりました。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ買掛金が15,653千円減少したこと、未払金が1,627千円増加したこと、未払法人税等が11,747千円減少したこと、契約負債が150,348千円増加したこと等によるものであります。

### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,401,793千円(前連結会計年度末比52,913千円増)となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益81,874千円を計上したことにより利益剰余金が増加したこと、新株予約権の行使に伴い自己株式を70,441千円処分したこと、配当金の支払い51,681千円等に伴い利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症が沈静化する中、オフィス回帰が進んだことに伴い、リモートワーク環境下で大幅に減少していたオフィス、官公庁での定期購読の再開、及び前年度に積極的に推進した出版社が管理する定期購読サービスの承継活動が奏功し、2024年2月13日に公表いたしました2024年12月期の連結業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益に対し36.9%の進捗となり、現時点においては順調に推移しております。しかし、第2四半期以降において、事業の成長のためのM&Aを含む新規事業における前向きな投資、調査費用等が発生する可能性があるため、現時点においては、2024年2月13日に公表いたしました2024年12月期の連結業績予想を据え置きしております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,113,180	3,177,687
売掛金	301,290	316,301
商品	35,861	35,047
未収入金	1,467,594	1,528,573
その他	49,939	52,830
貸倒引当金	△3,822	△4,067
流動資産合計	4,964,044	5,106,373
固定資産		
有形固定資産	17,870	16,309
無形固定資産		
のれん	583	333
その他	421,491	444,994
無形固定資産合計	422,074	445,327
投資その他の資産	419,778	440,642
固定資産合計	859,723	902,279
資産合計	5,823,768	6,008,652
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	85,157	69,503
短期借入金	550,000	550,000
未払金	1,628,772	1,630,400
未払法人税等	55,060	43,313
預り金	48,346	38,425
契約負債	1,061,577	1,211,926
その他	45,973	63,289
流動負債合計	3,474,888	3,606,859
負債合計	3,474,888	3,606,859
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	265,198	265,198
資本剰余金	250,198	250,198
利益剰余金	1,816,142	1,793,918
自己株式	△83,580	△13,139
株主資本合計	2,247,958	2,296,176
新株予約権	996	996
非支配株主持分	99,925	104,620
純資産合計	2,348,879	2,401,793
負債純資産合計	5,823,768	6,008,652

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	1,452,472	1,413,130
売上原価	1,005,658	939,823
売上総利益	446,813	473,307
販売費及び一般管理費	374,729	346,304
営業利益	72,084	127,002
営業外収益		
受取利息	15	16
受取精算金	443	257
その他	0	23
営業外収益合計	459	297
営業外費用		
支払利息	664	695
営業外費用合計	664	695
経常利益	71,879	126,603
税金等調整前四半期純利益	71,879	126,603
法人税、住民税及び事業税	21,621	40,405
法人税等調整額	1,859	△372
法人税等合計	23,480	40,033
四半期純利益	48,398	86,570
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,673	4,695
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,725	81,874

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
四半期純利益	48,398	86,570
四半期包括利益	48,398	86,570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,725	81,874
非支配株主に係る四半期包括利益	5,673	4,695



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

当社は単一セグメントのため、該当事項はありません。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

(単位:千円)

区分	金額
コミッション収益	617,867
デジタル取次収益	512,461
請負収益	316,795
その他出版等	5,348
顧客との契約から生じる収益	1,452,472
その他	—
外部顧客への売上高	1,452,472

当第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年3月31日)

(単位:千円)

区分	金額
コミッション収益	648,723
デジタル取次収益	518,667
請負収益	242,296
その他出版等	3,441
顧客との契約から生じる収益	1,413,130
その他	—
外部顧客への売上高	1,413,130